

令和6年度 愛媛人物博物館 冬季企画展

水野廣徳

みずの

ひろのり

（非戦の論陣を張った軍事評論家）

入場
無料

生誕150周年
没後80年
太平洋戦争終戦80年

松山市立子規記念博物館提供

開催期間

令和6年12月7日(土)～令和7年3月9日(日)

休館日

月曜日（祝日及び振替休日に当たる場合はその翌日）
年末年始（12月29日～1月3日）

会場

愛媛県生涯学習センター内
愛媛人物博物館 3階 企画展示室

開館時間

9時～17時30分（博物館への入館は17時まで）
※12月7日はオープニングセレモニーのため10時30分開館予定

プレ展示

令和6年11月30日(土)～12月1日(日) | えひめ生涯学習“夢”まつり内
愛媛県県民文化会館

■主催 / 愛媛県生涯学習センター

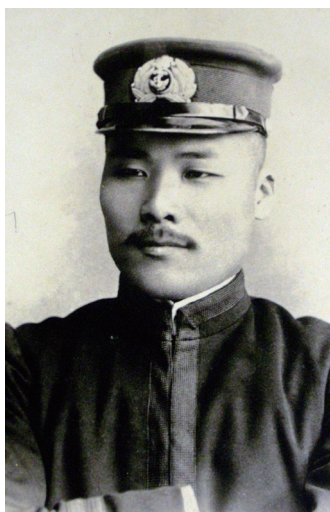
■後援 / 愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛



太平洋戦争の末期となる昭和20（1945）年3月10日、日本の首都・東京は、アメリカ軍の大規模な無差別空爆に晒されて壊滅的な被害を蒙りました。以後、終戦まで同様な空襲が幾度となく繰り返され、東京での延べ死者数は10万人以上、罹災者数約300万人、罹災戸数は約70万戸に上りました。この様な東京への空襲の可能性を示唆し、アメリカとの戦争が起これば大規模な空爆により悲惨な結果がもたらされることを、その20年以上も前に予測して戦争の回避を訴え続けたのが軍事評論家・水野広徳でした。

水野広徳は、明治8（1875）年、和気郡広町（現、松山市）の旧松山藩士の家に生まれました。苦学の末に海軍兵学校を卒業し、日露戦争時は水雷艇長として日本海海戦に臨みました。日露戦争後の明治44（1911）年、軍務の傍ら執筆して出版した『此一戦』は、桜井忠温の『肉弾』とともに戦記文学の双璧とされて広く読まれ、水野の類まれな文才を世に示すこととなりました。この頃の水野は生粋の軍国主義者でした。しかし、第一次世界大戦の実状を視察するためにヨーロッパを訪れた際、戦争がもたらす惨状を目の当たりにし、平和主義者へと思想的な大転換を遂げました。そして、海軍と決別して非戦と軍縮の論陣を張る軍事評論家に転身して活動を開始し、戦争へと向かって直走る社会情勢の中で、これに真っ向から抗う言論活動を展開しました。時に厳しい統制が加えられ、論文を掲載した雑誌が発禁処分となることも多々ありましたが、決して信念を曲げることなく筆を執り続けました。

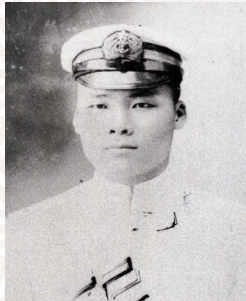
本展では、水野広徳生誕150周年、没後80年、そして太平洋戦争終戦80年を迎えるこの機会を捉え、ゆるぎない信念により、非戦と平和への道を模索し続けた水野広徳の生涯を紹介するとともに、その人物像に迫ります。



松山市立子規記念博物館提供

みずの ひろのり
水野 広徳

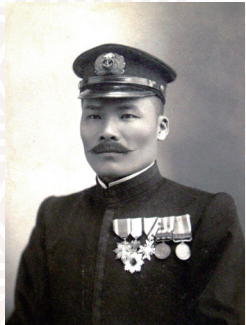
1 章 水野広徳の礎



「水野広徳著作集」第8巻より転載

ゆるぎない信念により、非戦と平和への道を模索し続けた水野広徳の原点を探るとともに、幼少期から海軍兵学校卒業までの水野の成長の足跡を、関係資料を用いて紹介します。

2 章 海軍士官として、文筆家として



松山市立子規記念博物館提供

海軍兵学校を卒業して海軍少尉に任官され、明治37（1904）年に勃発の日露戦争では、海軍大尉・水雷艇長として参戦して大きな戦功を立て、明治44（1911）年、軍務の傍ら執筆した日本海海戦が題材の戦記小説『此一戦』を出版すると大ベストセラーとなり、類まれなる文才を発揮して大きな注目を集めた水野の足跡を、関係資料を用いて紹介します。

3 章 軍服を脱ぐまで



「水野広徳著作集」第2巻より転載

第一次世界大戦の視察のための2回にわたるヨーロッパ旅行をとおして、近代戦争のもたらす悲惨な戦禍と、戦勝国といえども荒廃し疲弊する国土を目の当たりにし、軍国主義から平和主義へと思想の大転換を遂げた水野の足跡を、関係資料を用いて紹介します。

4 章 剣を筆に替えて



松山市立子規記念博物館提供

戦争の道へと直走る日本の社会情勢の中、軍部の横暴、政治の腐敗、資本家の搾取などの社会悪と戦うため、当時の主要評論誌（中央公論、改造など）を中心に言論活動を展開してこれらを徹底的に批判し、厳しい統制が加えられながらも、信念を曲げることなく筆を執り続けた水野の足跡を、関係資料を用いて紹介します。

関 連 講 座

受講無料・要事前申込（先着順、定員100名）

水野広徳の生涯と自叙伝 「剣を吊るまで」「剣を解くまで」

講師 / 平岡 瑛二 氏（松山市立子規記念博物館学芸員）

日時 / 令和7年3月8日（土）/ 13時30分～15時

場所 / 愛媛県生涯学習センター 4階 大研修室

申込 / 受講希望者全員の住所・氏名・電話番号を明記してEメール・はがき、またはHP申込フォーム・電話・窓口でお申し込みください。

展 示 解 説 会

参加無料・申込不要

日時 令和6年12月22日（日）

令和7年1月19日（日）

2月16日（日）

3月9日（日）

各日とも13時30分～及び15時30分～の2回

会場 愛媛人物博物館 3階 企画展示室

お問い合わせ
お申し込み

愛媛県生涯学習センター

指定管理者 / (株) レスパスコポレーション
〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲 650 番地
TEL 089-963-2111/FAX 089-963-4526 URL <https://www.i-manabi.jp/>
Email top@i-manabi.jp